

1 次の場合は、臨時休校とします。

釧路地方、または居住している地域に「気象に関する特別警報」が発表された場合

※本校HP (<http://www.sensho.hokkaido-c.ed.jp>)のトップページにも掲載します。

2 次の(1),(2)のいずれにも該当する場合は、自宅待機とします。

(1)朝、6時の時点で、釧路地方、または居住している地域に警報(暴風・大雨・洪水・暴風雪等)が発令されている場合

(2)居住している地域や、通学に使用しているJR及びバス等の公共交通機関が運休となっている場合

3 次の場合も、自宅待機をしてください。

居住している地域の天候や、道路状況により、各家庭で通学が困難であると判断した場合

4 確認事項

(1)臨時休校

①臨時休校が前日から決まった場合は、保護者あて文書を生徒に配付し、HPにも掲載します。

②当日の朝、臨時休校が決まった場合は、HPに掲載します。

③臨時休校の翌日も交通機関への影響が残ることがあります。その場合は「交通障害による公欠」となりますので、無理をして登校せず、保護者から担任へ連絡してください。

④臨時休校となった授業時間については、生徒の学習権確保のため、長期休業期間を利用するなどの方法で補充授業を行うことを原則とします。

(2)自宅待機

①自宅待機の場合は、学校からの連絡はありません。保護者が判断した時点で担任へ連絡してください。電話がつながりにくいことも予想されます。追って担任から状況確認の連絡をします。

②自宅待機で欠席した場合は、「非常変災等(自然災害)による公欠」となりますので、保護者による送迎も危険回避を最優先とし、周辺の状況を十分に考慮して判断してください。

③自宅待機で登校できなかった生徒については、個別に補充授業を行うことを検討します。

(3)その他

①通常登校後に警報(暴風・大雨・洪水・暴風雪等)が発令され、公共交通機関の運休が予想されるなどの場合、授業を打ち切って生徒を下校させることがあります。その際、保護者との連絡が取れない生徒は下校させられませんので、普段から緊急の連絡先を確認しておいてください。また、生徒帰宅後、学校への報告をお願いします(連絡方法は下校時に指示します)。

②冬期間に停電となった場合、学校の暖房等も使えなくなることがあります。普段から十分な防寒対策をして登校するよう、ご家庭でも配慮をお願いします。

③その他、ご不明な点等ありましたら、学校までお問い合わせください。

担当：教頭 TEL 0154-52-3331

# 他国による弾道ミサイル等発射に伴う生徒の安全確保について(9月29日改訂版)

北海道釧路商業高等学校

## 【ミサイル発射に伴う警報が発令された際の対応】

※ 警報発令後、短時間でミサイルが到達・通過する可能性があるため、「素早く、最善の行動」を心がけてください。

### 1 自宅にいる場合

地下室等がある場合は、地下室に避難する。または、近くの建物（できるだけ頑丈建物）や地下に避難することが望ましいが、時間的な余裕が無い場合は、次のような行動を取ってください。

- (1) ドアや窓は全て閉めて、ドア、壁、窓ガラスから離れる。
- (2) 姿勢を低くし、手や腕で首や頭部を守る。

※ テーブル、机等の下に入ることも有効ですが、建物が倒壊した場合、動けなくなる可能性もあることから、注意が必要です。

### 2 登校直前の場合

- (1) 自宅で待機し、ミサイルの通過状況等を把握してください。
- (2) 原則として、交通機関（バス、JR等）が通常運行する場合は、学校は平常授業を実施します。
- (3) 交通機関の運行が遅れる場合もあると思いますが、その場合の遅刻は公欠扱いになるので、必ず学級担任に電話連絡をしてください。
- (4) ミサイル等により被害の可能性がある場合は、登校時間の繰り下げや臨時休校等の措置を取る場合があります。その際は、本校のホームページでお知らせ致しますので、ご確認ください。なお、ホームページの閲覧が困難な場合は、学校または学級担任に問い合わせください。

### 3 登下校の時間帯の場合

- (1) 公共交通機関を利用して登下校する生徒は、乗務員等の指示に基づき行動してください。
- (2) 保護者による車で送迎中の場合は、できる限り安全が確保できる場所に車を止めて、近くの建物（できるだけ頑丈な建物）や地下に避難してください。（自転車、徒歩通学も同様）

### 4 生徒が学校等で活動している時間帯の場合

- (1) ドアや窓は全て閉めて、ドア、壁、窓ガラスから離れて座ります。
- (2) 姿勢を低くし、手や腕で首や頭部を守ります。
- (3) グランド等、屋外にいる生徒は、速やかに校舎内に避難します。
- (4) 校外で活動している生徒は、近くの建物（できるだけ頑丈な建物）や地下に避難します。

### 5 下校直前の時間帯の場合

- (1) 生徒の下校（帰宅）を一時中断し、校舎内に待機させます。また、その状況については、本校のホームページでお知らせ致します。なお、ホームページの閲覧が困難な場合は、学校または学級担任に問い合わせください。
- (2) 政府による公式発表等を踏まえて生徒の安全確保に係る対応を解除します。

### 6 ミサイルが着弾(通過)した場合の対応

- (1) 近くにミサイルが着弾した場合、屋外にいる場合は口と鼻をハンカチ等で覆いながら現場から直ちに離れ(できるだけ遠く)、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難します。屋内にいる場合は、換気扇を留め、窓を閉め、目張りなどをして室内を密閉します。弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政の指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。（正確な情報把握に努めてください。）
- (2) ミサイル通過後に、万が一、落下物らしき物を発見した場合は、決して近寄らず、警察・消防に連絡してください。

### 7 その他

- (1) 万が一に備え、登下校時の避難場所（頑丈な建物や地下）をどこにするか、各自で考えておいてください。
- (2) この【ミサイル発射に伴う警報が発令された際の対応】は、今後の北海道教育委員会や国の状況を踏まえ、改定する予定です。(H29.9.29改訂)